

入れることはできない。
以上のことから、本議案に
反対する。

議案第9号 賛成討論

後期高齢者医療制度は、急速な高齢化による医療費の増大に対処し、将来にわたる持続可能な制度とすることを目的として、埼玉県後期高齢者医療広域連合が主体となり、運営されている。

予算案は、広域連合が賦課決定した保険料を市が徴収し、その相当額を納付金として広域連合に納付するための、所要額を計上しているものであり、その額は、適切に見積もられている。

以上のことから、本議案に賛成する。

(議案第10号)

平成30年度日高市介護保険特別会計予算

歳入歳出予算の総額をそれぞれ39億4千185万3千円としたいというものです。
(賛成多数で原案可決)

討論

議案第10号 反対討論

政府は平成26年に医療・介

護総合推進法を成立させた結果、年金収入のみで280万円以上など一定所得者の利用者負担は、27年8月に2割負担に引き上げられた。また、地域包括ケア強化法により、平成30年8月から年金収入340万円以上の人の利用料は3割負担に引き上げられる。

一方、26年の法改定で27年度から特養ホームへの入所は原則要介護3以上となり、要介護2までの方の介護サービスが低下する事態が生じている。

結果としてこうした国の施策の中で、本議案は第1号被保険者の一律の介護保険料引き上げを前提にするものとなっており、高齢者に将来的な不安と大きな保険料負担を課している。

以上のことから、本議案に反対する。

議案第10号 賛成討論

本予算については、次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画において、給付実績や認定者数等の状況を踏まえて推計された、サービス見込み量に基づいて介護給付費などを算定しており、適正に見込んだ内容となっている。

歳入についても、介護保険

制度に基づき負担割合が定められており、それぞれ適切に算定されていると認められる。

また、保険料については、介護給付費準備基金を取り崩し、介護保険料の負担分に充てることにより、第1号被保険者保険料の上昇を抑えているほか、所得に応じた保険料負担で計上されている。

以上のことから、本議案に賛成する。

(議案第11号)

平成30年度日高市武蔵高萩駅北土地区画整理事業特別会計予算

歳入歳出予算の総額をそれぞれ6億8千704万7千円としたいというものです。
(全員賛成で原案可決)

(議案第12号)

平成30年度日高市水道事業会計予算

収益的支出と資本的支出の合計を18億4千516万1千円としたいというものです。
(賛成多数で原案可決)

討論

議案第12号 反対討論

本年2月の全員協議会で、

水道施設の耐震化などに対応するために多大な費用を要することが見込まれるとの説明があった。そのための費用を確保しておくことは大切である。

しかし、類似団体に比べて、給水原価は低く抑えられ、施設の稼働が収益につながっているかを判断する有率は高い数値を示すなど、経営努力によって経営状況は安定していると考えられる。

一方、予算書に計上されている1mあたりの水道料金は158円2銭であるが、これは29年度予算の14円25銭に比べて13円77銭高となる。

28年度の供給単価は134円38銭であり、供給単価を抑える努力がされていると考えるが、例年の決算書で上がる純利益の一部を水道料金引き下げに還元することも必要である。

以上のことから、本議案に反対する。

議案第12号 賛成討論

水道は、市民生活に欠かすことのできないライフラインであることから、水道施設の耐震化など、防災面の備えが必要である。

また、給水開始から46年を経過し、法定耐用年数を超え

た管路、設備も増えており、その更新や維持管理にも多額の費用が必要となる。

しかし、近年、人口が減少傾向に転じていることに比例して、将来は、料金収入が減少していくことが見込まれており、独立採算を原則とする水道事業にとつては、大きな課題となっている。

このような状況のなか、本予算では主な収入源である水道料金について、前年度予算に比べて、やや下回ると見込みながらも、資本的収入および支出において、企業債を活用して前年度以上の建設改良費を計上しており、ライフラインとしての維持に必要な施設の更新や耐震化に積極的に取り組む予算と考えられる。

以上のことから、本議案に賛成する。

(議案第13号)

平成30年度日高市下水道事業会計予算

収益的支出と資本的支出の合計を20億9千238万9千円としたいというものです。
(賛成多数で原案可決)